

第6回 5月22日（木）13:00～14:30
あなたのそばの“？”に全力を。



栗原一貴氏

津田塾大学学芸学部情報科学科 教授
クーリード株式会社 CTO

会場：津田塾大学小平キャンパス特別教室

<講師プロフィール>

2007年東京大学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻博士課程修了。PhD。独立行政法人産業技術総合研究所研究員に就任。2013年より同、主任研究員。2014年より津田塾大学学芸学部情報科学科准教授、2019年より同、教授。2018年よりクーリード株式会社CTO。2019年米ワシントン大学客員研究員。2012年イグノーベル賞、MashupAwards2016最優秀賞、2017年情報処理学会論文賞、2016年情報処理学会山下記念研究賞、第12回・第18回日本ソフトウェア科学会論文賞、WISS'11論文賞・発表賞、2014年原島賞、EC'15論文賞、HCI研究会貢献賞等受賞。第25回暗黒星雲賞次点入賞。情報処理学会、日本ソフトウェア科学会 各会員。宇都宮愉快市民。著書に「消極性デザイン宣言」がある。物議を醸すものづくりを得意とする情報科学者。

<担当スタッフより>

栗原先生は、「人を笑わせ、そして考えさせる」をテーマに、物議を醸すシステム開発に力を入れていらっしゃる、津田塾大学情報科学科の教授です。システム開発と聞くと何だか難しい気もしますが、先生の研究は非常にユニークかつ多様で、その対象はコミュニケーションやゲームなど、多岐にわたります。イグノーベル賞の受賞をはじめとして、数々の研究が高く評価されている栗原先生ですが、そうした研究の原点には「日々のちょっとしたモヤモヤ」があると言います。日常生活の中でふと感じたモヤモヤを大切にすくいあげること、そのモヤモヤが新しい発見や出会いをもたらしてくれること、モヤモヤの生かし方一つで人生が豊かになること——「モヤモヤをアイデアに変える」研究を得意とする栗原先生のご講演から、自分自身の中に眠るモヤモヤした気持ちとの、新たな向き合い方について考えてみませんか。